

# 祥光



IMPULSE TOYAMA

発行/56号 令和6年3月 住所/富山市赤江町1-7 TEL. 076-441-2716  
[http://www3.shokoren-toyama.or.jp/seinenbu-blog/public\\_html/](http://www3.shokoren-toyama.or.jp/seinenbu-blog/public_html/)

## 商工会青年部連合会 通常総会

四月二十五日(火)、令和五年度通常総会が県中小企業研修センターにて開催された。中井会長が挨拶に立ち、令和四年度に実施した県青連事業の運営協力に対し感謝の意を述べられ議事に入った。

まず、令和四年度の事業報告、収支決算報告が行われ、その後、任期満了に伴う役員改選で新会長に和田美樹(射水市)が就任、令和五年度事業計画などを説明し全議案が承認された。

和田会長は、新体制にて令和五年度事業を推進していくにあたり、「IMPULSE of PASSION(愛顔(えがお))」を胸に情熱を持ってインパルス活動を「1」をスローガンに、①部員増強・組織活性化・多様化、②地域振興発展、③県内外の青年部との交流促進、④GoogleWorkspaceの推進を重点目標として掲げた。

議事終了後には、中瀬 淳哉さん(入善町)、小澤 高夫さん(富山市南)に対し、柳川賞が授与された。

総会終了後、青年部女性部合同による通常総会(合同総会)が開催された。

【新役員(理事を除く)】  
 会長 和田 美樹(射水市)

副会長

室 友理恵(入善町)

平 一輝(富山市北)

田地 広大(射水市)

柴田 泰利(庄川町)

監事

中田 雄大(上市町)

嶋田 充宏(南砺市)



退任された中井前会長へ花束の贈呈



和田会長(中央)と左から室副会長、平副会長、田地副会長、柴田副会長

## ごあいさつ



富山県商工会青年部連合会会長

和田 美樹

皆さんこんにちは。平素は富山県商工会青年部連合会の活動に多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝いたします。

さて、昨年度の経済情勢ですが、原材料価格の高騰や賃金の上昇、慢性的な人手不足など、多くの問題を抱えているものの、新体制がスタートしたこの一年間で、新型コロナウイルス感染症が「五類」に移行し、個人消費の増加やインバウンド需要の回復など、経済活動には復活の兆しが見え始めていました。

そんな中で発生した石川県能登半島を震央とする最大震度七の地震。富山県内も様々な被害に見舞われた一方、このような状況だからこそ、「青年部との仲間たちとの絆」「青年部と地域との絆」「全国の青年部間の絆」を強く感じる事ができました。

今年度も富山県青連では組織活性化、県内外の青年部との交流促進、IT化推進を重点目標としつつ、こんな時代だからこそ、より一層地域から必要とされる商工会青年部を目指してまいります。

新しい未来、活力ある地域社会の創出を志し、残り一年も【愛顔】を胸に情熱を持って、インパルス活動に取り組んでいきましょう。

## Content

- P1 通常総会  
ごあいさつ
- P2 主張発表県大会・ゼミナール  
主張発表中部ブロック大会  
青年部全国大会  
部長研修会
- P3 レクリエーション事業  
対抗ゴルフ大会  
宮城県商工会青年部連合会  
との交流研修会
- P4 元気な商工会地域づくり  
支援事業  
研修・広報委員会の活動報告

# 主張発表県大会・ゼミナール

七月十九日(水)、商工会青年部主張発表県大会が県中小企業研修センターにて開催された。呉東・呉西の各ブロック大会で選出された七名の代表者が、日頃の青年部活動や地域振興・まちづくりについて熱のこもった発表を行い、富山市八尾山田商工会青年部の加藤将仁さんが最優秀賞に選ばれた。

また大会に先んじて、全国商工会壮青年部連合会長 宮窪大作氏より、「青年部と壮青年部」と題し、講演が行われた。

## 最優秀賞

加藤 将仁 (富山市八尾山田)

田仲 聡 (射水市)

優秀賞 (発表順)  
板倉 雄太 (入善町)

福本 心 (庄川町)

優良賞 (発表順)  
稲葉 勝宏 (南砺市)

高田 康平 (富山市南)

磐田 愛 (富山市北)

# 中部ブロック商工会青年部連絡協議会交流研修会

八月二十四日(木)、岐阜県ホテルグランヴェール岐山にて、中部ブロック商工会青年部連絡協議会交流研修会が開催され、中部ブロック管内の青年部員約三百名が参加した。

主張発表中部ブロック大会においては、富山県代表の富山市八尾山田商工会青年部の加藤将仁さんが優良賞に選ばれた。

大会終了後、ウエルズ社会保険労務士事務所代表の五十川 将史氏を講師に招き、「お金をかけずに“欲しい人材”を獲得く中小企業経営者が知っておくべきハローワーク採用とは」と題し特別講演会が行われ、青年経営者の資質向上を図った。



# 青年部全国大会

十一月十五日(水)〜十六日(木)、群馬県のGメッセ群馬において、第二十三回商工会青年部全国大会が開催され、全国から商工会青年部員約四千名が集結、富山県からは百名が参加した。

大会顕彰では、ネットワークづくり部門で上市町商工会青年部の松井拓也さんがその功績を称えられた。

また長年にわたり青年部活動に貢献したとして、入善町商工会青年部の高下峰則さんに感謝状が贈呈された。

基調講演では、群馬県出身で高校時代は「ハシカチ王子」の愛称で話題となり、プロ野球でも活躍した斎藤佑樹氏を招き、「選択とリフレミニング」というテーマで講演が行われた。

# 部長研修会

十二月十八日(月)、庄川町商工会館において部長研修会を開催し、県下商工会の青年部長が参加した。

一般社団法人ジソウラボ代表理事 島田優平氏を招き、「つくる人をつくる〜100年後の文化の源泉を育てる〜」をテーマに講演が行われた。

島田氏は業態を超え民間主導によるまちづくりを進めており、井波に新しい挑戦を志す人々が集まりやすい環境を整えている。

今回の講演では、このようなジソウラボでの取り組みを拝聴したほか、エクスカージョンにより「新たなまちづくり」への理解を深めることができた。



十月五日（木）、富山県総合運動公園屋内グラウンドにおいて、レクリエーション事業が開催された。フィンランド発祥のスポーツ「モルック」を通じて、交流・親睦を深めた。

リーグ戦を勝ち上がった四チームによる決勝トーナメントでは、縦投げなどの技に挑戦する参加者も現れ、熱戦の結果、「ブラックジャンポール（入善町）」チームが優勝した。

○大会結果

- 優勝 ブラックジャンポールチーム（入善町）
- 二位 庄川ちゃんぽんチーム（庄川町）
- 三位 ムズムズ射水チーム（射水市）
- 四位 高岡アダルトチーム（高岡市）

対抗ゴルフ大会

十月三十一日（火）、トナミロイヤルゴルフ倶楽部において、商工会青年部対抗ゴルフ大会が開催された。

県内の各商工会青年部から総勢九十七名が参加し、参加した青年部員が個人戦と団体戦でスコアを競い親睦を深めた。

- 団体優勝 小矢部市Aチーム
- 二位 射水市Aチーム
- 三位 入善町Aチーム
- 個人優勝 越後 雅俊（射水市）
- ベストグロス賞 ベストグロス賞 村田 博典（小矢部市）



十一月二十九日（水）、富山市のとやま自遊館にて、宮城県商工会青年部連合会との交流研修会を開催した。

両県青連による交流事業は、平成二十四年より東日本大震災被災地支援事業として、富山県青連が宮城県等の被災地を訪問したことから始まり、互いに全国に先駆けて「災害対策マニュアル」を作成し、平成二十九年二月には宮城県にて両県青連による「大規模自然災害対策等に関する協定」を締結した。

このような経緯から、今後も防災・減災に関する情報交換や災害が発生した際の対処等に関する知識を共有し、有事の際でも迅速に連携・対処ができる関係性を築くことを目的に本事業を開催している。

毎年交互に開催地を入れ替え、今年度は富山県で開催し、宮城県勢二十二名、富山県勢五十三名が参加した。

研修会では、安土桃山時代から一子相伝で継承する「城端蒔絵」の十六代目 小原 治五右衛門氏を講師に迎え、「芸術文化と地域のつながりについて」と題し、講演が行われた。

その後、各班に分かれ「社業と地域そして青年部活動について」というテーマでグループワークを行い、参加者相互の親睦と地域において青年部員が果たすことのできる役割について意見交換を行った。

また翌日には株式会社能作を訪問。铸件製作体験を通して富山県のものづくりの精神や歴史に触れる良い機会となった。



# 元気な商工会地域づくり支援事業

## 地域キャラクターを使った地元新スイーツ創出地域振興事業

入善町商工会青年部

入善町商工会青年部では、地元PRキャラクターである「ジャンボ〜ル三世」と「ブラックジャンボ〜ル」のベビーカステラ『リトルジャンボ〜ルカステラ』の試作を行いました。

今回、地元入善産の米粉に加え、町内で生産された野菜やフルーツを混ぜ込み、材料の配合を変えて試作を重ねました。試作品のお披露目を2月の入善ラーメンまつりで行ったところ、配布前から行列が並ぶほどの人気がありました。

今後はイベントが開催される季節ごとに旬の食材を混ぜ込んだものを提供していきたいと考えております。



## 魅力的な地域資源を活用した出会い応援事業

立山舟橋商工会青年部



立山地域の魅力を発信するための街コンイベントを開催しました。

美しい立山連峰を望む複合施設「ヘルジアンウッド」を会場に選び、現地栽培のラベンダーを使用したワークショップ体験を行ったほか、MCやパフォーマー、おやつとして配布したお菓子など、全て地元の事業者にご協力いただき、「地域」にこだわって実施しました。

結果、目標定員を超える参加があり、そのうち5組のカップリングに成功。さらに参加者には電子地域通貨や食事券を用意するなど、イベント以降の持続的な賑わい創出にも繋げることができました。

## 高岡市商工会青年部のクラフトビールを作ろう

高岡市商工会青年部

「高岡市商工会青年部の顔になるものを作ろう」を目標に、高岡市商工会青年部オリジナルのクラフトビール「FES」を製作しました。世界各国のビールを試飲し、味のヒントを探ることで、男女問わず飲みやすく、フルーティーで、その中にも少しの苦みを利かせた大人なビールを目指すことにしました。

8月には完成し、各種イベントで試飲いただいた皆様からは「うまい！ジョッキでくれ！」など好評のお言葉をいただきました。「FES」を通して私たちのことを知っていただいた方も多く、「高岡市商工会青年部の顔」を作ることができたのではないかと思います。



研修委員会の委員長を務めさせていだいております南砺市商工会青年部の佐藤です。研修委員会では、青年部ゼミナールと宮城県青連との交流研修会において、研修内容の企画・運営を行いました。また、今年度より委員会を毎月行い、開催場所をそれぞれの単会地区で行うという取り組みをさせていただきました。開催場所が東へ西へと距離が遠くなる部員もいらつしやいます。それぞれ単会の地域、風土を知ることができ、懇親会ではご当地の飲食店を委員で楽しませていただきました。委員会を行うごとに、積極的に委員会内で意見が飛び交うようになり、より良い方向へ事業を構築することができるようになっていきました。委員の皆様を支えていただき、無事に一年を終えることができました。ご協力をいただき本当にありがとうございました。

次年度も、部員の皆さんが気持ちよく委員会に参加し、絆を深める機会となるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



研修委員長  
佐藤 良介

【研修委員会】

広報委員会の委員長を務めます富山市八尾山田商工会青年部の加藤です。広報委員会では、SNSを中心に青年部活動の情報発信や、今年度からはレクリエーション事業の企画・運営を行っております。レクリエーション事業においては、ゼロからのスタートだったこともあり、本年度の委員会はそこだけで時間が過ぎてしまいました。しかし、その甲斐もあり、レクリエーションとその後開催した初の合同懇親会は大成功を収めることができました。これも、各単会から出向されているみなさんの尽力のおかげです。ありがとうございます。残り1年ですが、SNSでの活動が思うように進められていないので、去年開設した県青連のインスタグラムを中心に、活動報告・情報発信も頑張りたいと思います。そして、みなさんに「広報委員会に出向してよかった」という思ってもらえるように、僕自身が先陣を切って頑張りますので、よろしくお願いたします。



広報委員長  
加藤 将仁

【広報委員会】

研修・広報委員会の活動